

自動車破損事故報告及び損害賠償額の決定について

- 1 発生日時 平成30年10月19日（金）午後3時頃

- 2 発生場所 八戸市立市川中学校 本館ボイラー室横

- 3 事故の概要 派遣用務員が、本館ボイラー室横で刈払機を使用し除草作業を行っていたところ、刈刃に接触した小石が飛び散り、駐車中の普通乗用車の後部ガラスに当たり、破損した。

- 4 損害賠償額 60,880 円

 （全国市長会学校災害賠償補償保険より同額給付）

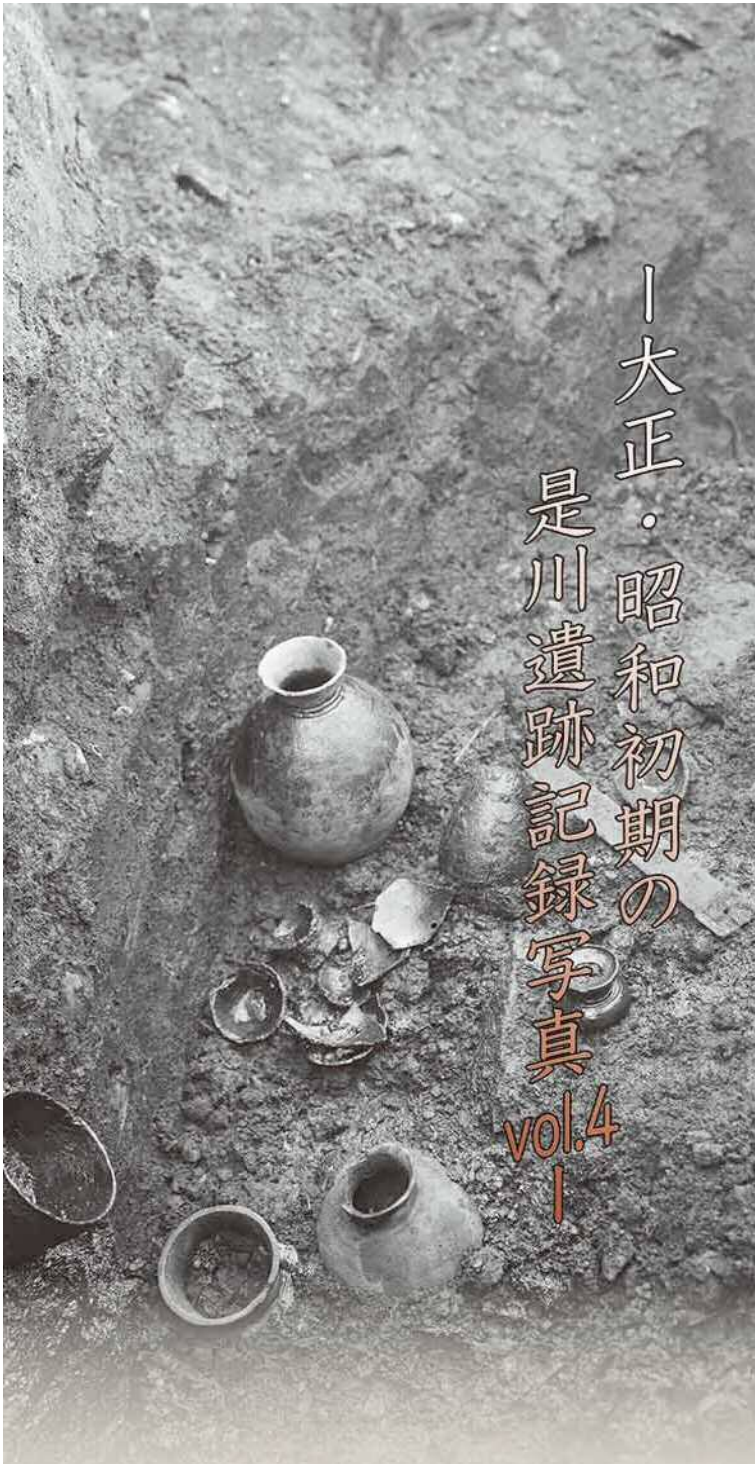
- 5 専決処分月日 平成30年11月6日（火）処分第35号

- 6 示談成立月日 平成30年11月6日（火）

是川縄文館。パネル展

伝える

―大正・昭和初期の
是川遺跡記録写真
vol.4―



2018.12.15(土) ▶ 2019.3.21(木)

大正・昭和初期のガラス乾板と、平成の発掘調査フィルム写真。各時代を撮影したカメラとともに、その写真を今に伝えます。

特別講演会開催（是川縄文館1階体験交流室）
「文化財を撮る―写真が遺す歴史」

講師 / 中村 一郎 氏
（奈良文化財研究所 写真室 専門職員）

日時 / 2018年12月15日(土)14時から16時

内容 / 文化財写真の歴史や技術について

要申込 定員100名

※大正・昭和初期の是川遺跡
ガラス乾板 199点を収録し
たオリジナルブックレット 聴講者限定配布



「伝える―大正・昭和初期の是川遺跡記録写真 vol.4―」

ご利用案内

- 会場 / 是川縄文館 2階 企画展示室
- 開館時間 / 午前9時～午後5時（入館は午後4時30分まで）
- 休館日 / 12月17・25日、年末年始(12/27～1/4)、1月7・15・21・28日、2月4・12・18・25日、3月4・11・18日
- 交通 / JR 八戸駅東口 南部バス「是川縄文館行き」20分
(土・日・祝のみ)

自家用車 八戸I.Cより車10分

- 観覧料 **無料** ※常設展の観覧には以下の料金が必要になります
一般 250 円 / 大・高校生 150 円 / 小・中学生 50 円
(20名以上の団体は割引料金)

パネル展開催記念
オリジナルグッズ
数量限定販売



ガラス乾板写真による
是川遺跡絵葉書

是川縄文館
オリジナル
野帳(全3種)



平成30年度文化庁「地域の特色ある埋蔵文化財活用事業」
文化力 協力：株式会社社内カラー アーカイブサポートセンター

写真の
まち八戸

031-0023 青森県八戸市是川字横山1 八戸市埋蔵文化財センター
☎0178-38-9511
http://www.korekawa-jomon.jp/

是川縄文館

閑散期（冬期間）における縄文学習館の利用方法の変更について

- 1 利用方法を変更する施設
八戸市縄文学習館（是川縄文館分館）
- 2 利用方法を変更する期間
平成30年12月1日(土)より平成31年2月28日(木)まで
- 3 変更内容
縄文学習館の受付業務を是川縄文館に集約する。
- 4 変更する理由
冬期間は縄文学習館の来館者数が減少する閑散期となるため。
- 5 周知方法
 - 広報はちのへでの周知
 - ホームページでの周知
 - 市内小中学校への文書発送
 - 記者クラブへの周知

八戸市縄文学習館の概要

八戸市縄文学習館は、平成6年に史跡是川石器時代遺跡のガイダンス及び体験学習施設として開館した。平成23年の是川縄文館開館に伴い、展示内容を更新し、是川縄文館の分館としてリニューアルオープンした。

現在の展示室では、是川遺跡とその保存に尽力された泉山氏に関する展示のほか、是川遺跡の概要や学史的背景を紹介する展示、また埋蔵文化財センターの役割について解説する展示を設けている。入館・観覧は無料となっている。

同館では展示のほか、各種体験学習の準備作業を通年行っているほか、毎年8月に開催しているこれかわ縄文まつりの主会場として利用している。

来館者の利用状況

過去7年間の年間平均で約3,400名の来館者があるが、例年12月から2月の冬期間は来館者が極端に少ない状況となっている。

来館対応（通常）

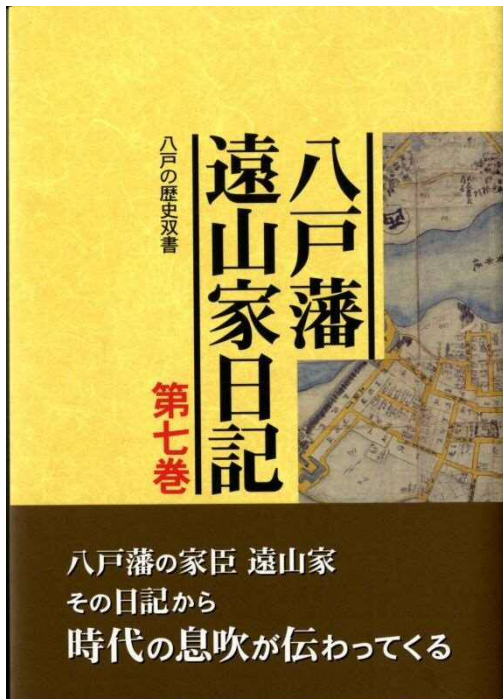
開館時間である午前9時から午後5時の間、八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館受付等業務委託により2名が常駐して来館対応にあたっている。

『八戸藩遠山家日記 第七巻』 刊行案内

八戸市立図書館では、『八戸藩遠山家日記 第七巻』を平成 30 年 10 月 31 日に刊行しました。八戸藩の上級武士だった遠山家の日記を復刻したもので、既に刊行されている第一巻～第六巻の続編になります。

遠山家日記は、江戸時代から大正時代まで 127 年間に亘り書き継がれてきたもので、江戸時代の武士個人の生活記録としての意義にとどまらず、八戸藩の政治の動きや、江戸時代の経済・社会の動きを知る上でも貴重な資料であり、平成 28 年 8 月には県重宝（歴史資料）に指定されています。

今回刊行した第七巻は、嘉永 6 年（1853）から安政 5 年（1858）までの 6 年間の記録しており、遠山家八代当主庄太夫や息子庄馬の八戸での勤番の様子、大雪や地震の自然災害、異国船の来航による軍事教練の増加、藩主の領内巡見の記述もみられ、幕末の社会情勢が見えてくる一冊となっています。



※ 定価 2,570 円（A5 版 677 ページ）

販売所：図書館、博物館、市内書店（伊吉書院、木村書店、金入）等

お問い合わせ

八戸市立図書館 歴史資料グループ

〒031-0022 八戸市糠塚字下道 2-1

電話・FAX 0178-73-3234

八戸市史の歴史本のご紹介

主な販売書店
伊吉書院、木村書店、
金入など八戸市内書店

お問い合わせ先 八戸市立図書館歴史資料グループ
TEL/FAX 0178-73-3234
E-mail shishi@city.hachinohe.aomori.jp

新編 八戸市史 (B5版、通史編のみA5版)

発行年度	本のタイトル	内容	定価(円)
1 20	新編八戸市史 考古資料編	八戸の自治体史として、初めての考古資料編となります。市内を5地域に分けて、地域毎の主な遺跡を年代順にオールカラーで紹介しています。付録として、市内の遺跡地図が付いています。	5,760
2 25	新編八戸市史 中世資料編	平安時代後半から根城南部氏が遠野へ移る江戸時代初期までの歴史的資料を収録しています。編年資料と写真／系図・由緒書の2冊で構成されています。	5,760
3 18	新編八戸市史 近世資料編Ⅰ	八戸藩の成立から支配制度、財政、対外関係、そして災害・飢饉とその対策、藩政改革など、八戸藩の「政治」をテーマに数々の資料を紹介しています。付録として、カラー付図2点、本文検索用CD-Rが付いています。	5,760
4 19	新編八戸市史 近世資料編Ⅱ	八戸藩の農林水産業、商業、鉱業など「産業」のほか、「交易」や「交通」に関する資料を紹介しています。付録として、カラー付図2点と本文検索用CD-Rが付いています。	5,760
5 22	新編八戸市史 近世資料編Ⅲ	八戸藩政時代における年中行事、藩学校教育、災害の記録などの「社会」や文芸・武芸、自然科学、宗教などの「文化」といった幅広い史料を集めました。付録として、カラー付図2点、本文検索用CD-Rが付いています。	5,760
6 18	新編八戸市史 近現代資料編Ⅰ	廃藩置県から明治末期までの時代を対象に、八戸の暮らし・産業・教育などにまつわる資料を紹介しています。付録として、付図が1点と本文検索用CD-Rが付いています。	5,760
7 19	新編八戸市史 近現代資料編Ⅱ	明治末期から八戸大火のあった大正を経て、昭和4年の八戸市誕生までの時代を対象に、八戸の暮らし・産業・文化・まちづくりなどにまつわる資料を紹介しています。付録として、本文検索用CD-Rが付いています。	5,760
8 20	新編八戸市史 近現代資料編Ⅲ	平成21年で八戸市は80歳になりました。八戸市が誕生した昭和4年から、現在の八戸市域がほぼ完成した昭和30年頃までのまちづくり、産業、文化、暮らしなどの資料を紹介しています。付録として、本文検索用CD-Rが付いています。	5,760
9 21	新編八戸市史 近現代資料編Ⅳ	新産業都市の指定を受けて発展する昭和30年代から60年代までの産業、文化、教育、交通などの資料を紹介しています。付録として、本文検索用CD-Rが付いています。	5,760
10 23	新編八戸市史 近現代資料編 都市計画	港湾整備、新産業都市指定、土地区画整理事業、市民協同のまちづくりなどの行政文書を中心に、明治時代以降に近代的都市へと発展していく八戸市の姿をまとめています。付録として本文検索用CD-Rが付いています。	5,760
11 23	新編八戸市史 近現代資料編 戦争	アジア・太平洋戦争期の八戸地域の様子を、戦時公報や軍関係の公文書、個人の日記や貴重な体験談などでまとめています。付録として、八戸市内にあるトーチカなど戦争遺跡の位置を印した付図1点、本文検索用CD-Rが付いています。	5,760
12 16	新編八戸市史別編 自然編	八戸地方のそれぞれの季節でしか見られない貴重な植物、様々な表情をもつ動物たちについてカラー写真などを交えて紹介しています。付録として八戸の自然写真を納めたCD-Rや付図が付いています。	5,760
13 21	新編八戸市史 民俗編	八戸の自治体史として、初めての民俗編となります。市民の聞き取りをもとに、受け継がれてきた生活文化、風習、信仰、人生儀礼等をカラーでまとめています。付録として、本文検索用CD-Rが付いています。	5,760
14 23	新編八戸市史 地誌編	八戸市を明治22年当時の14地区に分け、各地域の歴史や文化遺産、伝承や自然、先人の業績などをまとめています。さらに、歴史を巡るウォーキングコースを紹介しています。オールカラー版で、付録として本文検索用CD-Rが付いています。	5,760
15 26	新編八戸市史 通史編Ⅰ 原始・古代・中世	遺跡発掘調査や古文書などを通して見えてくる旧石器時代から根城南部氏が活躍した中世の八戸の様子を、700点を超えるカラー図版を用いてまとめています。八戸に関係する考古学研究および中世史研究の歩みも紹介しています。	3,080
16 24	新編八戸市史 通史編Ⅱ 近世	八戸藩の誕生から明治の廃藩置県までを見ていく第1編と、藩内の産業や経済、文化など分野別にスポットを当てた第2編からなっています。全編カラー印刷による数百点の図版とともに、近世八戸の魅力が詰め込まれた1冊です。	3,080
17 25	新編八戸市史 通史編Ⅲ 近現代	明治期から現代までの八戸地域の産業・教育・災害・人々の暮らしなど、数多くの事柄を取り上げています。全編カラー印刷で手に取りやすく、八戸についての新たな発見に出会える1冊です。	3,080

【裏面もございます】

八戸の歴史双書シリーズ

八戸の歴史資料を解説＆復刻した「復刻シリーズ」と、テーマ別に書き下ろした「読み物シリーズ」の2種類です。

発行年度	本のタイトル	内容	定価(円)
1	12 復刻シリーズ 八戸藩士系譜書上	八戸藩の侍たちが自分たちの家系の由来や家紋など記した資料をまとめて活字化した資料集です。	2,570
2	13 読み物シリーズ 八戸の安藤昌益 (稲葉克夫 著)	安藤昌益の資料が発見され注目されるようになった経緯、昌益が記した「自然真営道」や「統道真伝」の内容について解説しています。	820
3	14 復刻シリーズ 明治・大正の 八戸市街図と三戸郡誌	明治・大正にそれぞれ発行された八戸市街図と明治10年代の三戸郡地誌を中心に掲載しています。当時の村々の土地や気風などについて記されています。	2,770
4	14 読み物シリーズ 八戸の女性史 (島守光雄 著)	八戸藩主の側室や女流俳人から明治以降の羽仁もと子や千葉くらなど、エピソードを交えて八戸の歴史に登場する女性たちの軌跡を紹介しています。	1,330
5	15 復刻シリーズ 江戸期八戸の日記集	江戸時代の八戸を記録した初期の「盛岡藩雑書」、「川勝家日記」、「淵沢家日記」の3つの貴重な日記を掲載しています。災害、農村、年中行事を記した記事が見られます。	2,980
6	15 読み物シリーズ 八戸藩の武芸 (太田尚充 著)	八戸藩には様々な武芸が伝えられました。その中から、八戸藩主に代々受け継がれたとされる武術「御家流」を中心に、神道無念流などを解説しています。	1,330
7	16 復刻シリーズ 八戸藩遠山家日記 第一巻	八戸藩では家老の家柄であった遠山家の日記のうち、初期にあたる寛政4年(1792)から文化9年(1809)までの18年分の日記を収録しています。	2,570
8	16 読み物シリーズ 近代八戸地方の農村生活 (館花久二男 著)	著者自身の体験談や古老の話などを通じて、八戸地方の農業の特徴を紹介しています。	1,130
9	17 復刻シリーズ 八戸藩遠山家日記 第二巻	「八戸藩遠山家日記第一巻」の続編です。遠山家日記のうち文化7年(1810)から文化12年(1815)までの日記を収録しています。	2,570
10	17 読み物シリーズ 八戸の漁業・近代編 (山根勢五 著)	明治時代の漁網の改良で知られる長谷川藤次郎や鯨騒擾事件、大正時代の鮫漁港整備・ニシン出稼ぎを経て、昭和以降の八戸魚市場の成立や200カイリ時代について述べています。	1,130
11	26 復刻シリーズ 八戸藩遠山家日記 第三巻	「八戸藩遠山家日記第二巻」の続編です。遠山家日記のうち文化13年(1816)から文政4年(1821)までの日記を収録しています。	2,570
12	26 復刻シリーズ 八戸藩遠山家日記 第四巻	「八戸藩遠山家日記第三巻」の続編です。遠山家日記のうち文政5年(1822)から文政10年(1827)までの日記を収録しています。	2,570
13	27 読み物シリーズ 概説 八戸三社大祭 (工藤竹久 著)	江戸時代から現代までの八戸三社大祭の歴史や内容を、オールカラー印刷による貴重な百点以上の図版とともに、時代順にわかりやすく説明しています。	1,890
14	28 復刻シリーズ 八戸藩遠山家日記 第五巻	「八戸藩遠山家日記第四巻」の続編です。(14年後)遠山家日記のうち天保12年(1841)から弘化4年(1847)までの日記を収録しています。	2,570
15	29 復刻シリーズ 八戸藩遠山家日記 第六巻	「八戸藩遠山家日記第五巻」の続編です。遠山家日記のうち弘化4年(1847)から嘉永5年(1852)までの日記を収録しています。	2,570
16	30 復刻シリーズ 八戸藩遠山家日記 第七巻	「八戸藩遠山家日記第六巻」の続編です。遠山家日記のうち嘉永6年(1853)から安政5年(1858)までの日記を収録しています。	2,570

はちのへ市史研究

八戸の歴史に関する研究論文や今までの市史編纂事業の中で発見された資料をご紹介します。市史編纂室の活動記録も掲載しています。

発行年度	本のタイトル	内容	定価(円)
1	14 はちのへ市史研究 創刊号	八戸の自然に関する論文として「ウミネコの生態」について紹介しています。八戸近辺のシダ植物・シダ植物の楽しみ方についてのコラムも載せています。	1,950
2	15 はちのへ市史研究 第2号	「八戸の景観(自然)」、「市町村合併(近現代)」、「八戸の伝統食(民俗)」をテーマにした研究論文を掲載しています。さらに八戸で発見されたクジラの化石について、発見された経緯も紹介しています。	1,740
3	16 はちのへ市史研究 第3号	蝦夷地(北海道)に渡り開拓した八戸藩領民をテーマにした研究論文「蝦夷地に渡った八戸領民について」を掲載しています。資料紹介では大正時代の八戸を写した映画フィルムの内容を紹介しています。	1,740
4	17 はちのへ市史研究 第4号	江戸時代初期の八戸を支配していた根城南部家の研究論文のほか、神田重雄の日記や青森～秋田間を結ぶ鉄道構想資料の4つの近現代資料を紹介しています。さらに、東北地方で見られる人形「オシラサマ」の特徴をテーマにした講演記録を収録しています。	1,740
5	18 はちのへ市史研究 第5号	八戸湊の飯盛女、昭和初期の八戸銀行の休業・復活の研究論文、戦後の八戸市発掘調査、古地図と災害についての市史随想を掲載しています。資料紹介では、戦時の近現代資料を紹介し、さらに、近世北日本経済をテーマにした講演記録を収録しています。	1,740
6	19 はちのへ市史研究 第6号	古代集落からみた地域社会の変化、お浜入り神幸祭の今昔、高野山の南部家墓所などについてバラエティーに富んだ研究論文を掲載しています。また、西有穆山や八戸藩江戸留守役 野中鏡与、プランク文庫について資料を紹介しています。	1,740
7	20 はちのへ市史研究 第7号	戦後の北奥羽開発構想、南浜地区の祭祀供養、南郷区の植物相、明治期の八戸三社大祭に関する研究論文や、「新編文林全集」巻之三の資料紹介、市史随想等を収録しています。	1,740